



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月28日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール
 コード番号 8005 URL <http://www.scroll.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 堀田 守
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括部経営企画課長 (氏名) 鈴木 康晴 TEL 053-464-1114
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	16,808	6.2	981	—	1,044	—	865	—
27年3月期第1四半期	15,831	△9.8	△76	—	22	△97.8	△51	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 931百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	25.88	25.88
27年3月期第1四半期	△1.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	38,335	21,247	55.2
27年3月期	36,361	20,483	56.2

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 21,168百万円 27年3月期 20,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,000	10.8	325	—	500	—	350	—	10.51
通期	68,000	7.0	650	—	1,000	—	700	—	21.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	34,320,650株	27年3月期	34,320,650株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	842,668株	27年3月期	912,615株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	33,419,183株	27年3月期1Q	33,222,289株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成27年7月28日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、円安や原油価格の下落により企業収益や設備投資の持ち直しの動きがみられるなかで、雇用情勢や所得環境が改善傾向にあるなど、景気は緩やかな回復基調が続いています。

小売業界におきましては、消費税増税の反動により低迷した昨年度に比べ、株高や消費者マインドの向上、訪日外国人によるいわゆるインバウンド需要などにより、宝飾・貴金属・化粧品などの高額品や高付加価値商品に明るい兆しがみえ始めています。

このような事業環境のなか、当社グループは、中期経営計画「SCROLL RENOVATION 2015」の最終事業年度にあたる当期において、「シニア事業」、「インターネット事業」、「健粧品事業」および「通販ソリューション事業」を成長戦略の中心に据えるとともに、事業の収益化に向けた各種施策、さらには事業基盤を一層強化するためのインフラ投資を確実に実行し、次期中期経営計画の実施につながる強力な事業体制の構築に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高16,808百万円(前年同四半期比6.2%増)となりました。利益面におきましては、連結営業利益981百万円(前年同四半期は連結営業損失76百万円)、連結経常利益1,044百万円(前年同四半期は連結経常利益22百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益865百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失51百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後の数値を、セグメント利益又は損失は、連結相殺消去前の数値を記載しております。

① 通販アパレル事業

通販アパレル事業におきましては、女性向け通販ブランド『Brillage(ブリアージュ)』において、素材と機能性にこだわった商品の展開に取り組んでまいりました。生協販売におきましては、大人の女性にも着心地のよいサイズやデザイン、機能的な素材を用いた商品を揃え、お客様がお求めになりやすい価格設定をした商品の充実を図るなど、品揃えの強化に注力いたしました。

以上の結果、売上高は7,176百万円(前年同四半期比3.1%増)となり、セグメント利益は306百万円(同5.6%減)となりました。

② 通販インナー事業

通販インナー事業におきましては、お客様から高い支持をいただいている定番商品の拡充や、天然素材にこだわった商品の開発などを積極的に進めてまいりました。また、お客様の購買分析に基づき、パッケージ商品や「ついで買い」を意識したプラスワン商品を開発するなど、購買の促進を意図した企画販売にも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は1,966百万円(同7.6%増)となり、セグメント利益は80百万円(同30.7%増)となりました。

③ 通販L F事業

通販L F事業におきましては、引き続き新生活需要への対応を強化するとともに、当社独自の商品ラインアップの拡充を図り、販売拡大に努めてまいりました。生協販売におきましては、季節需要に合わせた商品や暮らしを便利にするアイデア商品などの開発および販売に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は3,422百万円(同7.5%減)となり、セグメント利益は130百万円(前年同四半期はセグメント損失107百万円)となりました。

④ 通販H & B事業

通販H & B事業におきましては、ナショナルブランド化粧品などを取り扱うECサイトにおいて、出店モール内のイベントを活用し、効率的な販売に取り組んでまいりました。健粧品ビジネスにおきましては、インバウンド需要に対応したオリジナル化粧品の販売促進活動を行うとともに、通販既存顧客に対してリピート購入を促す販売活動を引き続き実施してまいりました。

以上の結果、売上高は2,444百万円(前年同四半期比45.0%増)となり、セグメント利益は448百万円(前年同四半期はセグメント損失311百万円)となりました。

⑤ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、既存の物流クライアントの物量増加や後払い決済サービスの営業強化に取り組んでまいりました。また、3月に稼働を開始したコスメティクス・サプリメント通販専用の物流センターによる付加価値の高いサービスを提案することにより、営業拡大を推進してまいりました。さらに、大手流通企業のオムニチャネル戦略設計支援やEC企業向けの海外物流支援などといった新たなサービスにもチャレンジしております。

以上の結果、売上高は1,798百万円(前年同四半期比8.6%増)となり、セグメント利益は155百万円(同47.8%増)となりました。

⑥ その他

その他事業におきましては、金融事業における事業終了に向けた業務に専念しております。

以上の結果、営業収益はございません。また、セグメント損失は2百万円(前年同四半期はセグメント利益24百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は38,335百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,974百万円増加しました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

(負債)

負債は17,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,211百万円増加しました。これは主に未払金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は21,247百万円となり、前連結会計年度末に比べ763百万円増加し、自己資本比率は55.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年4月30日の「平成27年3月期決算短信」で公表いたしました平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社グループ従業員に対する当社グループの中長期的な企業価値向上へのインセンティブ付与、福利厚生の実施、及び株主としての資本参加による従業員の勤労意欲高揚を通じた当社グループの恒常的な発展を促すことを目的として、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

1. 取引の概要

平成25年7月から約3年にわたり「スクロール従業員持株会」(以下「本持株会」といいます。)が取得する見込みの当社株式を、「スクロール従業員持株会専用信託口」(以下「信託口」といいます。)が予め一括して取得し、本持株会の株式取得に際して当社株式を売却していきます。

当該自己株式の取得・処分に関する会計処理については、当社と信託口は一体であるとする会計処理を行っており、信託口が所有する当社株式を含む資産及び負債、収益及び費用については連結財務諸表に含めて計上しております。

2. 信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)第20項を適用し、従来採用していた方法を継続しております。

3. 信託が保有する自社の株式に関する事項

- ① 信託における帳簿価額
前連結会計年度81百万円、当第1四半期連結会計期間63百万円
- ② 当該自社の株式を株主資本において自己株式として計上しているか否か
信託が保有する自社の株式は株主資本において自己株式として計上しております。
- ③ 期末株式数及び期中平均株式数
期末株式数 前第1四半期連結会計期間445千株、当第1四半期連結会計期間245千株
期中平均株式数 前第1四半期連結累計期間501千株、当第1四半期連結累計期間304千株
- ④ ③の株式数を1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めているか否か
期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,105	1,342
売掛金	10,964	11,900
たな卸資産	6,690	6,992
その他	2,649	3,185
貸倒引当金	△87	△94
流動資産合計	21,323	23,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,234	5,140
土地	4,576	4,575
その他(純額)	1,578	1,548
有形固定資産合計	11,390	11,264
無形固定資産	1,298	1,312
投資その他の資産		
その他	2,832	2,925
貸倒引当金	△483	△493
投資その他の資産合計	2,349	2,431
固定資産合計	15,037	15,009
資産合計	36,361	38,335
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,547	2,491
短期借入金	2,100	2,167
未払金	8,414	9,266
未払法人税等	66	196
引当金	272	357
その他	837	1,112
流動負債合計	14,238	15,591
固定負債		
長期借入金	242	150
引当金	367	171
退職給付に係る負債	645	661
その他	384	513
固定負債合計	1,639	1,497
負債合計	15,877	17,088

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,812	5,812
資本剰余金	7,123	7,087
利益剰余金	7,012	7,710
自己株式	△517	△477
株主資本合計	19,431	20,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	787	885
繰延ヘッジ損益	183	131
為替換算調整勘定	17	17
その他の包括利益累計額合計	989	1,035
新株予約権	3	4
非支配株主持分	59	73
純資産合計	20,483	21,247
負債純資産合計	36,361	38,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	15,831	16,808
売上原価	9,578	10,165
売上総利益	6,253	6,643
販売費及び一般管理費	6,330	5,662
営業利益又は営業損失(△)	△76	981
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	19	19
業務受託手数料	28	38
その他	55	20
営業外収益合計	108	81
営業外費用		
支払利息	4	4
その他	5	13
営業外費用合計	9	17
経常利益	22	1,044
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	3	2
その他	0	—
特別損失合計	3	2
税金等調整前四半期純利益	19	1,042
法人税、住民税及び事業税	58	177
法人税等調整額	9	△20
法人税等合計	68	157
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△49	885
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	20
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△51	865

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△49	885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	98
繰延ヘッジ損益	△74	△52
為替換算調整勘定	△1	0
その他の包括利益合計	12	46
四半期包括利益	△37	931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39	911
非支配株主に係る四半期包括利益	1	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販 アパレル 事業	通販 インナー 事業	通販 L F 事業	通販 H & B 事業	ソリュー ション 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	6,959	1,827	3,698	1,685	1,656	15,827	4	15,831	—	15,831
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	0	11	254	266	0	266	△266	—
計	6,959	1,827	3,698	1,697	1,910	16,093	4	16,098	△266	15,831
セグメント利益 又は損失(△)	324	61	△107	△311	105	72	24	97	△74	22

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△31百万円及び投資不動産の内部取引利益△42百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販 アパレル 事業	通販 インナー 事業	通販 L F 事業	通販 H & B 事業	ソリュー ション 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	7,176	1,966	3,422	2,444	1,798	16,808	—	16,808	—	16,808
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	2	244	247	—	247	△247	—
計	7,176	1,966	3,422	2,447	2,043	17,056	—	17,056	△247	16,808
セグメント利益 又は損失(△)	306	80	130	448	155	1,121	△2	1,119	△75	1,044

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△30百万円及び投資不動産の内部取引利益△44百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。